

平成30年第8回瑞浪市教育委員会定例会会議録

(要点筆記)

日 時 平成30年7月26日(木) 13時30分開会

場 所 瑞浪市役所 4階 全員協議会室

日程第1 前回会議録の承認

日程第2 本日の会議録署名委員の指名

日程第3 議 事

出席者

瑞浪市教育委員会

教育長	平 林 道 博
1 番	加 藤 博 之
2 番	山 田 幸 男
3 番	五 嶋 久 年
4 番	柴 田 洋 子

説明のため出席した事務局職員

事務局長	奥 村 勝 彦
事務局次長兼	
学校教育課長兼	工 藤 仁 士
学校給食センター所長	
教育総務課長	酒 井 浩 二
社会教育課長	大 山 雅 喜
スポーツ文化課長	工 藤 嘉 高

職務のため出席した事務局職員

教育総務課長補佐	鈴 木 友 恵
教育総務課総務係	安 藤 みちる

教育長

13時30分、本日の委員会定例会の開会を宣言する。

—市民憲章朗誦—

日程第1、前回会議録の承認を行う。

平成30年第7回教育委員会定例会の会議録に、1番加藤博之委員と2番山田幸男委員が承認の署名を行う。

—署名—

教育長

日程第2、本日の会議録署名委員の指名を行う。

本日の会議録署名委員は、教育長において、3番五嶋久年委員と4番柴田洋子委員の2名を指名する。

教育長

日程第3、「教育長諸般の報告」に移る。

教育長

教育長訪問では、園、学校にそれぞれの良さを認め、伝えることができ、良かった。教育委員には、同行いただき感謝している。園、学校は、委員からの温かな助言、励ましを喜んでいる。

記録的な猛暑に対する取組について、現況を報告する。

学期末までの1週間はとりわけ暑さが厳しく、学校に対して配慮を促した。豊田市での熱中症による痛ましい出来事は、本市でも起こりうることである。教育委員会事務局でも危機感をもって取り組んでいる。小中学校には、終業式前日の7月19日に「熱中症事故防止への緊急対応について」という通知を発出し、環境省の熱中症予防サイトにある「暑さ指数」に基づく対応を指示した。また、校長会の申し合わせにより、基準値を上回る高温が予想される場合は、プールを開放しないこととなった。夏休みに入って4日が経つが、陶小学校以外は、ずっとプール開放を実施していない。陶小学校では、午前中にプール開放の時間を移したことで、2日間、実施することができた。

近年の猛暑は、「災害レベル」と言われているように、危険な暑さである。事務局では、来年度以降、全小中学校にエアコンを設置できるようスピード感をもって取り組んでいるところである。

教育長

日程第4、議事に移る。

「議第38号 瑞浪市市之瀬廣太記念美術館の特別に休館する日について」を議題とする。本案について事務局から説明を求める。

スポーツ文化課長

【議案資料より説明】

教育長

事務局から提案説明があったが、質疑はあるか。

教育長

企画展の内容について、補足説明せよ。

スポーツ文化課長	中山尚子原画展「土神と狐」である。
教育長	他に質疑はあるか。
各委員	質疑なし。
教育長	それでは、質疑を終結し、採決を行う。「議第38号 瑞浪市市之瀬廣太記念美術館の特別に休館する日について」を原案のとおり承認することに異議はないか。
各委員	異議なし。
教育長	異議ないものと認める。よって「議第38号」は原案のとおり決する。
教育長	次に「議第39号 平成30年度瑞浪市教育委員会点検評価報告書(平成29年度事業)について」を議題とする。本案について事務局から説明を求める。
教育総務課長 事務局次長 社会教育課長 スポーツ文化課長	<b>【議案資料より説明】</b>
教育長	事務局から提案説明があつたが、質疑はあるか。
教育長	「ふれあい給食事業」について、当日はインフルエンザの流行により、中止したとのことである。事業が実施できていないのであれば、「評価不可」とすることも考えられるが、B評価とした理由を説明せよ。
事務局次長	不可抗力によりふれあい給食自体は実施できなかったが、そこに至るまでの準備などは行っており、評価は妥当だと考える。点検評価委員会からも、対象から外すなどの意見はなかった。
山田委員	①「ALT派遣事業」について、「来年度は1名増員要望を考えている」とあるが、展望はどのようか。②「教育支援センター運営経費」について、教育相談件数が平成28年度と比較して激増しているが、要因は何か。③「児童生徒学業支援員派遣事業」について、自己評価に「増員が必要」とあり、点検評価委員会からも増員が必要なら予算措置をするようにと意見が出ている。学校の要望を満たしていないのであれば、A評価は適当と言えるだろうか。
事務局次長	①ALTの増員については予算要望を行うが、措置されるかはわからない。増員できない場合は、来年度から中学校が3校となるため、これまで中学校のみを担当していたJETプログラムのALTを小学校にも

割り当てることで対応する。

②教育相談件数が大幅に増えた要因は、適応指導教室室長がこまめに学校を訪問して、相談しやすい関係を築いたこと、相談できる場所があるという評判が広がったことが挙げられる。

③「児童生徒学業支援員派遣事業」について、点検評価は、事務の執行状況に関する評価であるから、予算の範囲内、計画の範囲内においては、適切に実施できたため、A評価とした。

教育長

他に質疑はあるか。

各委員

質疑なし。

教育長

それでは、質疑を終結し、採決を行う。「議第39号 平成30年度瑞浪市教育委員会点検評価報告書（平成29年度事業）について」を原案のとおり承認することに異議はないか。

各委員

異議なし。

教育長

異議ないものと認める。よって「議第39号」は原案のとおり決する。

教育長

つづいて「議第40号 平成31年度使用小・中学校用教科用図書の採択について」を議題とする。なお、本案に関する議事内容の公開は、採択にかかる手続きが全て完了する9月1日以降とする。  
本案について事務局から説明を求める。

事務局次長

【議案資料より説明】

教育長

事務局から提案説明があったが、質疑はあるか。

柴田委員

自分が一番良いと感じたものが、選ばれた。上位3社を比較したところ、東京書籍については、紙質が黄味がかっており、目に優しく、落ち着いた印象を与える。

教育長

そういった観点も大事であろう。

山田委員

東濃採択地区協議会における研究は、わかりやすく納得できる内容であった。それぞれ特徴があったが、東京書籍のものは、オーソドックスで扱いやすいかもしれない。

教育長

小学校用教科用図書「道徳」における教科書会社8者のシェアは、21.3%から2.9%の間に分布している。それぞれの地域が一番良いと思うものを採択すればよい。また、道徳教育には絶対的な学問体系がなく、各校が着眼点を決めて指導することになる。そうした場合、「東濃独自の観点」で評価が高いということは、価値があると言えるのではないだろう

うか。

山田委員

東濃採択地区協議会において、昨年度採択された小学校用教科用図書とのつながりはどのようなかと研究員に尋ねたが、そういう観点では考察していないとの回答であった。

小中学校が同じような狙いをもって、指導していくのは大事なことである。例えば、東京書籍と光村図書では「橋の上のおおかみ」という教材を取り上げているが、この教材は小学1年生でも取り上げられており、同じ題材を中学校で再度取り上げるというのは面白い。小中学校の接続があって良い。

加藤委員

各市で意見が分かれたということはなかったか。

事務局次長

市単位ではなかったが、委員個人の中には、別の教科書がよいという意見もあった。

五嶋委員

自分の意見と一致した。「東濃独自の観点」については、事前に業者に公表されていたのか。その項目で、高評価が取れる教科用図書が採択されるように思う。

事務局次長

公表していない。

教育長

他に質疑はあるか。

各委員

質疑なし。

教育長

それでは、質疑を終結し、採決を行う。「議第40号 平成31年度使用小・中学校用教科用図書の採択について」を原案のとおり承認することに異議はないか。

各委員

異議なし。

教育長

異議ないものと認める。よって「議第40号」は原案のとおり決する。

教育長

以上で本日の日程が終了したので、平成30年第8回瑞浪市教育委員会定例会を閉会する。

14時40分 終了

上記会議録の正確なることを証するため、ここに署名する。

教 育 長

署名 3 番委員

署名 4 番委員

書 記